

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

静岡県 地域ワークショップ 報告書

2019（平成 31）年 2 月 20 日（水）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」静岡県ワークショップが開催されました。当日は、静岡県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方 36 名（小学校 20 名、中学校 7 名、高等学校 9 名）の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2019（平成 31）年 2 月 20 日（水）14 時 00 分～16 時 30 分

会場：静岡県産業経済会館 大会議室

主催：静岡県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：36 名

プログラム：

14:00～14:05 開会の挨拶

静岡県教育委員会事務局 健康体育課 課長 名雪 元 氏

14:05～14:40 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

14:40～15:15 静岡県教育推進指定校における取組について

静岡県教育委員会事務局 健康体育課 学校体育班 鈴木 淳矢 氏

15:15～15:25 休憩

15:25～16:15 グループディスカッション

16:15～16:25 事務連絡

16:25～16:30 講評

静岡大学教育学部 保健体育講座 地域創造学環スポーツプロモーションコース

教授 河合 学 氏

開会行事では、静岡県教育委員会事務局の名雪元氏より挨拶がありました。名雪氏からは、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催は、身近で世界トップレベルのスポーツを感じる貴重な機会であることから、本事業を通して子どもたちにソフト面でのレガシーを残せるように積極的に取り組んでいきたい、と本事業に対する想いをお話いただきました。

続いて、本センターの深見副センター長、岡田研究員より、事業概要や実践事例について説明がありました。特に、各種学校におけるオリ・パラ教育の実践に関しては、既存の様々な取り組みとオリ・パラ教育を関係付けることでレガシーとして残すことができる等、今後のオリ・パラ教育の推進方法に関してお話いただきました。



名雪元氏



会場の様子

さらに、静岡県教育委員会事務局の鈴木淳矢氏からは、静岡県におけるオリ・パラ教育の取り組みについて、実践事例を中心に紹介いただきました。



岡田研究員の講義



鈴木氏の講義

10分の休憩の後、推進校の先生によるグループディスカッションが行われました。具体的には、推進校の先生方に校種別に分かれていただき、各校における取組の紹介や実践の成果と課題について意見交換が行われました。そして、最後に、各グループが話し合った内容について発表が行われました。各グループからは、体育科・保健体育科や道徳科、総合的な学習の時間を活用した実践や、キャリア教育を関連づけた実践の報告が行われました。一方で、事前及び事後学習を行うための時間数の確保の問題やアスリートの方と実技体験をする際の安全面への配慮の問題が課題として挙げられました。最後に、静岡大学の河合学氏より講評をいただき、散会となりました。



グループディスカッション①



グループディスカッション②



河合学氏